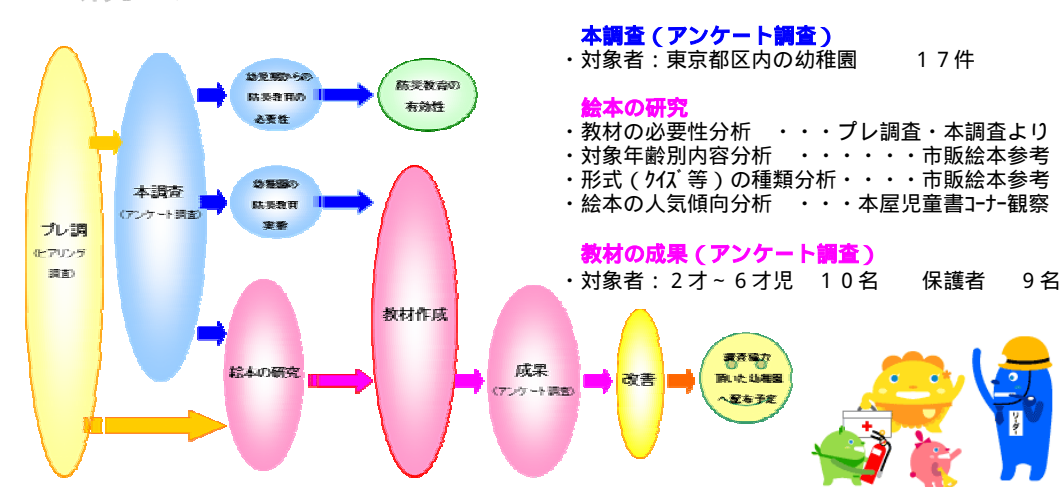


1. はじめに

阪神・淡路大震災以降、防災意識向上の重要性が再認識されている。防災意識を高めるには早期教育が有効だと考えられているが、教材等の環境は整っていない。この問題を踏まえ、本研究では幼児期からの防災教育に注目し、幼稚園における防災教育の現状調査や、園児へのヒアリング調査を行い、検証・分析した。さらに、地震に対する意識向上を目的とした絵本教材を提案した。

2. 研究のフロー



3. 幼児期からの防災教育の必要性

まず、ヒアリング調査とアンケート調査から「幼児期からの防災教育」自体の必要性について分析した。(図1)

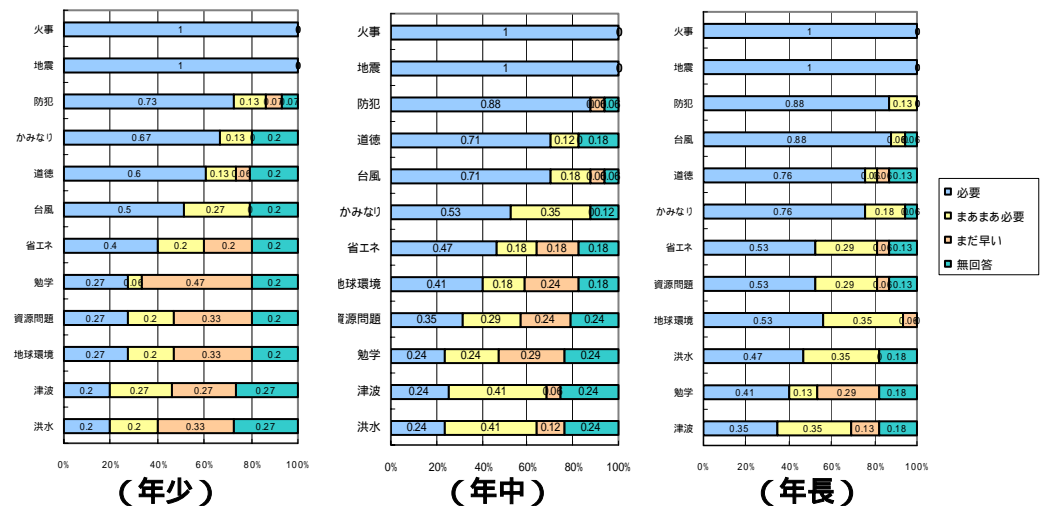


図1 幼児期に必要な知識

「地震」「火事」について学ぶ必要性は、各学年に共通して高いことがわかった。このことから防災教育は幼児期から教えるべき知識として位置づけられると考察された。

4. 幼稚園における防災教育の実態

避難訓練の実態

幼稚園での避難訓練内容は主に「幼稚園で地震・火災が起きた時の対応」であり、「家庭での防災対策」などその他のシチュエーションについては保護者の指導に任されていると分析できる。(表1) また、幼稚園によって訓練内容にバラつきがある。

表1 避難訓練内容に関するアンケート結果

Table 1: Survey results on evacuation training content. Columns include disaster type (地震, 火災, etc.), frequency (頻度), and content details (内容). Legend: Green = 5+ years, Yellow = evacuation training, Red = disaster education content.

学年別に見る訓練内容・目的と訓練後の理解度

年少では「知る」ことから始まり、年中では「指示に従い行動できる」、年長では年中での目的はもちろん「自分で考え行動できる」という目的も見られた。(表2) 理解度については成長と共に訓練への理解度は高まる傾向にあり、繰り返し指導していくことで次第に身につけていくことがわかった。(表3) 各学年の理解の仕方を踏まえ訓練内容により、幼児期からの防災教育は可能であると考察された。

表2 学年別に見る避難訓練内容・目的

Table 2: Evacuation training content and objectives by age group. Rows: Young (年少), Middle (年中), Old (年長). Columns: Objectives (目的・内容).



表3 学年別に見る理解度

Table 3: Understanding of training after training by age group. Rows: Young (年少), Middle (年中), Old (年長). Columns: Understanding after training (訓練後の理解度).

5. 絵本教材の試行と成果

内容・構成の検討

教材作成にあたり、絵コンテ5案を提案し分析を行った。その結果より「幼稚園での避難訓練」を舞台に内容構成を行った。(表4)

表4 絵本教材提案の構成と分析

Table 4: Composition and analysis of picture book proposals. Columns: Form (形式), Content (内容), Analysis (分析).

教材の評価

試作教材を実際に幼児とその保護者に読んでもらい、「親の目」「子供の目」それぞれの視点から教材の成果を分析した。(表5)

表5 絵本教材の評価アンケート結果

Table 5: Evaluation survey results for the picture book. Columns: Evaluation item (評価項目), Age group (年齢), and Rating (評価).

改善点

教材の評価より抽出した改善点を参考に教材の修正を行った。(表6) 修正前と修正後を図2・3に示す。

表6 自由コメントから抽出した改善点

Table 6: Improvements extracted from free comments. Content includes: 'Text is long and volume is large', 'Quiz wrong answer reasons are hard to understand', 'Text is hard to read (font)', 'Smaller characters for younger children', 'More illustrations', 'More colorful illustrations', 'Cut out explanations for quizzes', 'More 'oh-kashimo' characters', 'All quizzes in quiz format is good'.



図2 修正前

図3 修正後

6. おわりに

本研究から、学齢期からだけではなく「幼児期からの防災教育」の必要性と可能性が考察された。また、年齢に応じた避難訓練内容や目的、訓練後の子供たちの理解度から、その有効性も窺えた。教材についても、子供たちに身近な内容で飽きさせない形式・構成を採用することにより、教材の効果も期待できると推測される。